令和4年度

環境経営レポート



対象期間　：　令和4年9月～令和5年8月

発行年月日　：　令和5年11月30日

株式会社 広岡組

目　　次

1　環境経営方針　1

2　事業概要＆認証登録範囲　2

3　実施体制　3

4　環境経営目標　4

5　環境経営計画　5

6　環境経営目標の実績　6

7　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容　7

8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無　8

9　代表者による全体評価と見直し・指示　8

10　情報公開事項　9

１ 環 境 経 営 方 針

《環境理念》

株式会社広岡組は、土木建設工事及び産業廃棄物処理に伴う企業活動が、地球環境に何らかの影響を与えていることを強く認識し、環境との調和を全ての事業活動に優先させ、『緑あふれる自然環境を次世代へ』をテーマに、社員全員が一丸となり、自主的・積極的にエコアクション２１に取り組み、継続的な改善を行います。

《環境保全への行動指針》

１．持続的な循環型社会の構築推進のため、
次の項目について重点的に取り組みます。

① 受託した産業廃棄物のリサイクルに努め、
再資源化率の向上に取り組みます。

② 現場施工において環境に配慮した機械の使用や工法に
取り組みます。

③ 車両整備における廃油・塗料などの飛散・流出防止に努めます。

④化学物質の適正管理で無駄な使用・廃棄を防止します。

２．環境負荷の低減のため、次の活動を行います。

① 重機や車両で使用する燃料の削減に努めます。

② 事務所や作業所で使用する電気の使用量削減に努めます。

③ 全員で節水に心がけ、水使用量の削減に努めます。

④ 工事現場で発生する建設副産物の分別を行い、
可能な限りリサイクルに努めます。

⑤ 重機・車両の整備に伴い生じる廃棄物の削減
及びリサイクルに努めます。

３．環境法規制を順守し、地域社会との調和に努めます。

４．本環境経営方針は、教育や日常活動を通じて、全社員に周知します。
また、一般にも公表します。

制定日：平成28年8月1日
改定日：令和3年2月12日

株式会社 広岡組
代表取締役
星 壽二

2 事業概要＆認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社広岡組
代表取締役　星 壽二

2 所在地

本社　　岩手県奥州市胆沢南都田字下広岡323-1
リサイクルプラント　同市胆沢若柳字上萩森32-1
自動車整備工場　同市胆沢南都田字濁川33-4

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　常務取締役　星 寿志
担当者　　TEL：0197-46-5151

4 事業活動の内容

1. 一般建設業 岩手県知事 許可(般28)6456号
   (土木、建築、とび土工コンクリート、石、舗装、水道施設、解体)
2. 産業廃棄物収集運搬許可 岩手県、青森県、宮城県、仙台市
   産業廃棄物中間処理許可 岩手県
3. 一般貨物自動車運送事業
4. 自動車整備事業

5 事業規模

資本金	12	百万円	
建設業	R2年度	R3年度	R4年度
完工高 千円	274,047	360,317	461,054
廃棄物受託量 t	R2年度	R3年度	R4年度
産業廃棄物収集運搬 t	16,297.00	16,209.65	19,856.33
産業廃棄物中間処理 t	14,260.71	16,327.46	26,404.18
再生品等販売	R2年度	R3年度	R4年度
再生砕石 t	5,330.81	6,009.84	9,091.95
木質チップ t	1,825.27	1,935.67	2,036.92
その他の事業 (円)	R2年度	R3年度	R4年度
一般貨物自動車運送事業	77,000	1,041,036	4,540,143
自動車整備事業	21,519,268	23,951,400	19,022,734

項目	本社	リサイクルプラント	自動車整備工場
従業員	24名	11名	5名
敷地面積	6080.00㎡	18098.00㎡	3505.00㎡
延べ床面積	627.5㎡	174.35㎡	29.70㎡

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全活動が認証登録範囲

7 営業範囲

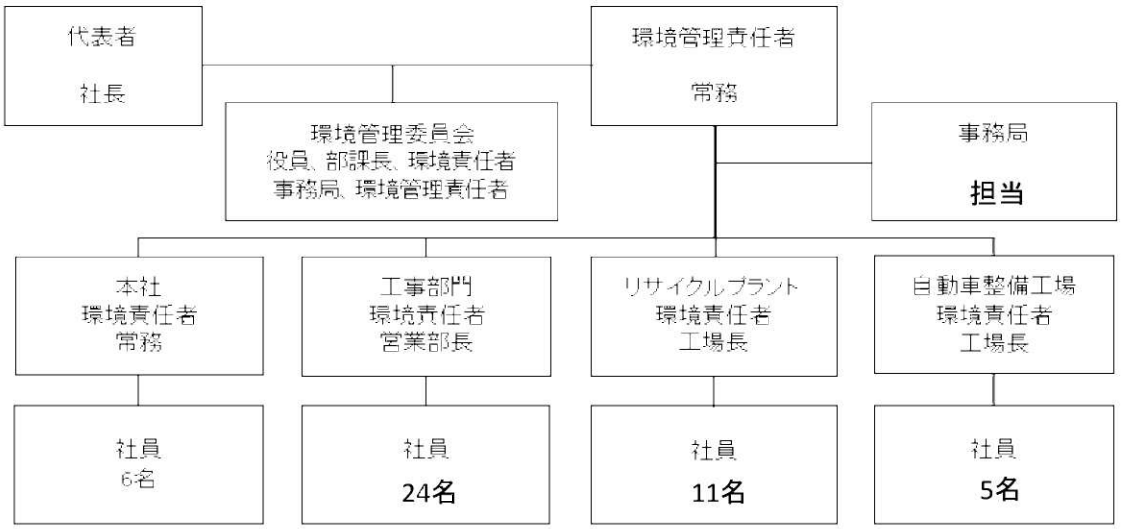
主として岩手県奥州市、金ヶ崎町。副として岩手県内全域。稀に青森、宮城等含む。

8 社歴

昭和49年	創業、建設業登録
昭和55年7月	有限会社広岡組設立
平成4年12月	産業廃棄物収集運搬業許可
平成6年7月	産業廃棄処分業許可
平成6年11月	株式会社広岡組に改組
平成16年5月	自動車整備工場設置
平成19年6月	本社新社屋新築及び移転

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境管理責任者を任命。
	・環境経営方針を制定し社員に周知する。
	・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。
環境管理委員会	・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
	・全社的な教育訓練の計画・実施
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者（各部門）	・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・担当部門の省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・担当部門の従業員に対する教育訓練の実施
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目(単位)	H30年度(基準年)	R2年度	R3年度	R4年度
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	1,038,683.20	856,587.55	824,693.41	876,390.22
購入電力使用量(kWh)	100,800.00	106,462.00	127,544.00	120,806.00
軽油使用量(L)	366,000.00	289,123.80	273,471.35	304,410.81
ガソリン使用量(L)	22,000.00	15,932.45	13,910.64	13,612.02
灯油使用量(L)	3,860.50	4,509.00	4,771.00	2,960.00
LPG使用量(kg)	23.96	59.06	123.87	400.24
一般廃棄物排出量(kg)	ー	66.20	61.52	50.85
受託産廃リサイクル率(%)	75.00	86.99	87.55	75.30
建設副産物リサイクル率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
総排水量(m3)	593.00	1,049.00	509.00	525.00
特定化学物質	680.60	1,126.00	1,139.50	851.90

注:排水量の測定はしていないので、水使用量を使用。
購入電力の二酸化炭素排出係数は大和ハウス工業㈱発表のH30年度実排出係数 0.585kg－CO_2/kWhを使用。

2 環境経営目標の設定

当社では、平成30年度を基準年度として中期及び単年度の環境経営目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度実績値	中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二酸化炭素排出量	1,038,683.20	kg-CO_2	5%削減	5%削減	6%削減
購入電力使用量	100,800.00	kWh	5%削減	5%削減	6%削減
軽油使用量	366,000.00	L	5%削減	5%削減	6%削減
ガソリン使用量	22,000.00	L	5%削減	5%削減	6%削減
灯油使用量	3,860.50	L	5%削減	5%削減	6%削減
ＬＰＧ使用量	23.96	kg	5%削減	5%削減	6%削減
一般廃棄物排出量	ー	kg	実績把握	実績把握	実績把握
受託産廃リサイクル率	75.00	%	3%増加	3%増加	4%増加
建設副産物リサイクル率	100.00	%	維持	維持	維持
総排水量	593.00	m3	5%削減	5%削減	6%削減
化学物質使用量	680.60	Kg	適正使用	適正使用	適正使用

5 環境経営計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境経営目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。 取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3　主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		取組内容	評価	責任者
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する。	○	各事業所長
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	各事業所長
		③事務室の部分照明を実行する。	○	各事業所長
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	各事業所長
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	○	各事業所長
		②エアコンのフイルターの清掃を定期的（最低、年1回）に行う。	○	各事業所長
		③空調を必要な区域・時間帯に限定する。	○	各事業所長
		④使用していない部屋は、空調を停止している。	○	各事業所長
	節電	①残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要のない箇所は消灯する。	○	各事業所長
		②昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	○	各事業所長
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	各事業所長
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取組んでいる。	○	各事業所長
	車輌その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	○	各事業所長
		②急発進・急加速はしない。	○	各事業所長
		③空ぶかしはしない。	○	各事業所長
		④冷暖房の控えめ使用	○	各事業所長
廃棄物抑制	一般廃棄物	①書類の簡素化・共有化を進める。	○	各事業所長
		②コピー用紙の使用量を抑制する。	○	各事業所長
		③紙の分別を行う。	○	各事業所長
		④紙は資源回収業者に引き渡す。	○	各事業所長
節水	用水・排水	①洗車時の無駄水の防止（ストップノズル取付）に努める。	○	各事業所長
		②雨水、地下水などの適正な利用に努める。	○	各事業所長
		③蛇口の水漏れがないか確認する。	○	各事業所長
		④トイレ用水の節約に努める。	○	各事業所長
化学物質使用	特定化学物質	①適正量の使用に努める。	○	工場長
		②適正な保管・管理を行う。	○	工場長
社員教育		①社内研修を実施する	○	管理責任者
		②外部研修を受講する。	○	管理責任者
地域貢献		①環境美化のための地域活動に参加する。	○	管理責任者
		②エコロジーの重要性の発信・啓蒙活動を行う。	○	管理責任者

6 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和4年度（令和4年9月から令和5年8月まで）の実績についての評価結果を報告致します。

表4　当該年度の環境経営目標の達成状況等

項目	単位	基準年	実施年（R4年）		環境経営目標の達成状況
		実績値	目標値	実績値	
■二酸化炭素排出量	kg-CO_2	1,038,683.20	976,362.21	876,390.22	達成
・購入電力使用量	kWh	100,800.00	80,640.00	120,806.00	未達成
・軽油使用量	L	366,000.00	344,040.00	304,410.81	達成
・ガソリン使用量	L	22,000.00	20,680.00	13,612.02	達成
・灯油使用量	L	3,860.50	3,628.87	2,960.00	達成
・LPG使用量	kg	23.96	22.52	400.24	未達成
■一般廃棄物排出量	kg	－	－	50.85	達成
■受託産廃リサイクル率	%	75.00	78.00	75.30	達成
■建設副産物リサイクル率	%	100.00	100.00	100.00	達成
■総排水量	m^3	593.00	557.42	525.00	達成
■化学物質使用量	Kg	680.6	適正使用	適正使用	達成

注　：今回の実施期間は令和4年9月～令和5年8月の一年間

一般廃棄物排出量の基準年実績値は、基準年が未取組のため、実績把握とします。

環境活動の状況

使用電力量は目標値より11%ほど抑えられているが前年度より上回っているので
使用方法等見直す必要がある。

軽油使用料については、現場の作業状況で変わってくるが大きく増加していないので
今後も無駄のない使用を継続させていく必要がある。
使用車両においてはアイドリングストップなど心がけるよう指導を続けていきたい。

LPGについては、前期同様舗装工事のほか処分場での使用が増えたため大幅に増加している。
灯油の使用量は気温変化が著しくなかったこともあり抑えられていると思われる。

二酸化炭素排出量は、876,390.22kg-CO_2と基準年より162,292.98kg-CO_2削減されている。
LPG等の使用量については生産性を考えつつ、もっと削減できる方法がないか検討する必要がある。
総排水量についても無駄がないか見直す必要がある。

化学物質は適正に保管管理し、適正量使用するよう気を付けている。

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の中期計画等について

1. 取組結果の評価

表5　主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	照明	消灯等の取組は、ほぼ定着している。	○	引き続き、維持していく プラントもLED照明に切り替える
	冷暖房	温度設定、ON/OFF、など必要最小限の使用が定着している。	○	引き続き、維持していく
	節電	パソコン、ネットワーク機器を最新の省エネモデルに切り替えている。	○	引き続き、維持していく
	車輌その他	低炭素車両への切り替えも含め、環境に配慮した運転を心がけている。	○	引き続き、環境配慮型車両へのリプレースなど取り組んでいく
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	裏紙を使用したり、ペーパーレス化に取り組んだりしている。	○	3Rの基本を今後もしっかり取り組む
	産業廃棄物	解体工事の元請け以外では排出そのものが殆どない。今後も継続していく。	○	完工高比率など適正な指標化を検討する。
節水・排水	用水・排水	井戸水を使用し、上水道の使用を減らしている	○	引き続き、維持していく
社員教育		エコロジー＝エコノミーの認識をもたせるため周知を進めた	○	社員から提案が出るよう進める
地域貢献		業界団体とも連携して環境美化・環境改善のための取組が継続してできている。	○	引き続き、継続していくと共に発信について検討する。

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2、次年度以降の中期環境経営目標と重点取組み

項目	基準年度	中期目標(内単年度目標)			
	R2年度実績値	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	839,127.78	kg-CO_2	1%削減	2%削減	3%削減
購入電力使用量	106,462.00	kWh	1%削減	2%削減	3%削減
軽油使用量	289,123.80	L	1%削減	2%削減	3%削減
ガソリン使用量	15,932.45	L	1%削減	2%削減	3%削減
灯油使用量	4,509.00	L	1%削減	2%削減	3%削減
ＬＰＧ使用量	59.06	kg	1%削減	2%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	66.20	kg	1%削減	2%削減	3%削減
受託産廃リサイクル率	86.99	%	1%増加	2%増加	3%増加
建設副産物リサイクル率	100.00	%	維持	維持	維持
総排水量	1,049.00	m3	1%削減	2%削減	3%削減
化学物質使用量	1,126.00	Kg	適正使用	適正使用	適正使用

R4年度 ： 設備の更新、中間処理設備の稼働などに伴う電力等使用量の削減可能性について改善活動

※購入電力の二酸化炭素排出係数は大和ハウス工業㈱発表のR2年度調整後排出係数0.421kg-CO_2/kWh(令和2年度実績、令和4年1月7日環境省公表)を使用。

8 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価並びに違反、訴訟等の有無

廃棄物処理法、建設リサイクル法、消防法などについて遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

9 代表者による全体評価と見直し・指示

2023年11月30日実施

1．評価項目

見直し項目	評価	改善及び指示
1．環境経営方針	日々の業務の中に、環境に対する意識を持ちながら取り組むことが概ね出来たといえる。	今後も最新の動向に対応しながら継続して取組していくこと。
2．環境経営目標	目標未達成の項目以外にも、細かな対策を立て取り組みをしなければならない。	クリーンエネルギー投資施策をこれからも積極的に検討してほしい。
3．実施体制	問題の要因をしっかり分析し、分析のためのデータ取得もしっかり取り組み、予防策の立案まできちんと対応できていた。	今後も継続すること。ちゃんと計画を立て、アクションプランを回せるように、全員で改善活動に取り組んでください。
4．その他	苦情受付0件は評価できる。	今後も継続すること。解体工事の売り上げを分けて計上し管理すること。
【全体評価】 業績と環境は、経営の両輪であるため、環境指標の低減につながる努力の継続と、適切な設備管理・更新を継続的に進めてほしい。また、個々の環境に対する意識も再確認しながら事業に使用するエネルギーの削減と廃棄物削減を進めてください。		

10 廃棄物業関連・組織の概要(情報公開)

事業所名	株式会社広岡組リサイクルプラント			
代表者名	代表取締役 星 壽二			
所在地	岩手県奥州市胆沢若柳字上萩森32-1			
環境管理責任者	常務取締役 星 寿志			
エコアクション21担当者				
連絡先	電話	0197-46-5151	FAX	0197-46-5154
	Email	info@hirooka-k.co.jp		
	URL	http://www.hirooka-k.co.jp		
事業活動の内容	弊社工事で発生する建設廃棄物を適正処分すると共に・建設副産物を再生砕石、木質チップに加工して、再生利用する。 同業社からの依頼がある場合は収集運搬・中間処理を受託する。			
事業計画の概要	建設廃棄物・建設副産物の処理を通じて資源循環型建設業を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。			
事業の範囲	営業範囲:主として岩手県奥州市、金ヶ崎町。副として岩手県内全域。稀に青森、秋田、宮城等含む。			

事業の規模	事業年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
	売上高(千円)	740,084	733,182	712,376	758,524
	受託収集運搬t	19,856.33	16,209.65	16,297.00	24,872.99
	受託処分量t	26,404.18	16,327.46	14,260.71	22,215.87
	従業員(名)	40	40	40	40

法人設立年月日	昭和55年7月24日	資本金	12	百万円			

許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類
	岩手県 収集運搬 第00313001412号	許可	平成29年12月15日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 金属くず、ガラス陶磁器くず、鉱さい、がれき類、動物の糞尿、ばいじん
		有効	令和4年12月14日	
	岩手県 中間処理 第00323001412号	許可	令和1年7月26日	廃プラ、木くず、金属くず、ガラス陶磁器くず、がれき類
		有効	令和6年7月25日	
	青森県 収集運搬 第00201001412号	許可	平成30年4月23日	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず、がれき類
		有効	令和5年4月22日	
	宮城県・仙台市 収集運搬 第00400001412号	許可	平成30年5月30日	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラス・コン、がれき類
		有効	令和5年5月29日	

設備	設備名		方式	種類	能力	備考
	破砕施設	Ⅰ	移動式・固定式	木くず	4.8t/日	
		Ⅱ	移動式・固定式	木くず	803.2t/日	
		Ⅲ	固定式	木くず	117.08t/日	
		Ⅳ	固定式	木くず	39.344t/日	
			固定式	木くず	23.36t/日	
			固定式	廃プラスチック類	48.75t/日	
			固定式	金属くず	180.08t/日	
			固定式	繊維くず	20.89t/日	
		Ⅴ	移動式・固定式	がれき類	773.6t/日	

収集運搬車両		
	2tダンプ 6台	3tダンプ 2台
	4tダンプ 4台	大型ダンプ 13台
	4t脱着装置付コンテナ専用車 7台	中型キャブオーバー 6台
	軽トラック 1台	大型キャブオーバー 2台
	2t塵芥車(パッカー車) 2台	大型トラクター 1台
	30tセミトレラー 1台	

	積替保管する廃棄物	保管量
積替保管	廃石膏ボード	保管高さ 0.15m 保管面積 6.84㎡ 保管体積 1.03㎥ 鉄製コンテナ 屋外保管
	廃プラスチック類	保管高さ 0.7m 保管面積 3.24㎡ 保管体積 2.27㎥ 鉄製コンテナ 屋外保管
	金属くず	保管高さ 1.1m 保管面積 13.68㎡ 保管体積 15.05㎥ 鉄製コンテナ 屋外保管
	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	保管高さ 0.8m 保管面積 3.24㎡ 保管体積 2.59㎥ 鉄製コンテナ 屋外保管

処理方法・処理工程



※廃棄物受入基準：廃棄物の種類ごとに分類された状態で受入します。混載の場合は別途協議致します。
※料金は電話・FAX、またはホームページの問合せフォーム
（http://www.hirooka-k.co.jp/contact.php）からお問合せ下さい。

受託した産業廃棄物の処理量

令和3年9月1日～令和4年8月31日

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t
収集運搬	燃え殻		
	汚泥		
	建設汚泥		
	廃油		
	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類		2,628.87
	紙くず		316.97
	木くず		2,031.98
	繊維くず		22.14
	金属くず		300.83
	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず		1,438.79
	石膏ボード		1,669.78
	鉱さい		537.82
	がれき類		920.14
	コンクリート破片		9,039.35
	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ破片		874.14
	安定型混合廃棄物		0.28
	管理型混合廃棄物		10.97
	石綿含有廃棄物		64.26
収集運搬量合計			19,856.32

中間処理		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	破砕	2,699.83
		紙くず	破砕	317.04
		木くず	破砕	2,036.92
		繊維くず	破砕	20.91
		金属くず	選別	297.26
		ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	破砕	8,517.10
		石膏ボード	破砕	1,668.80
		がれき類	破砕	890.76
		コンクリート破片	破砕	9,115.67
		ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ破片	破砕	839.89
	うち再資源化等	廃プラスチック類	破砕	1,782.11
		紙くず	破砕	317.04
		木くず	破砕	2,036.92
		繊維くず	破砕	20.91
		金属くず	選別	297.26
		ガラス陶磁器くず	破砕	7,881.10
		石膏ボード	破砕	1,150.51
		がれき類	破砕	792.91
		コンクリート破片	破砕	9,091.95
		ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ破片	破砕	839.89
		再資源化等量小計		24,210.60
中間処理合計				26,404.18
中間処理後	最終処分	廃プラスチック類	（管理型最終処分場（委託））	917.72
		ガラス陶磁器くず	（管理型最終処分場（委託））	636.00
		石膏ボード	（管理型最終処分場（委託））	518.29
		がれき類	（管理型最終処分場（委託））	97.84
		コンクリート破片	（管理型最終処分場（委託））	23.72
	再資源化	廃プラスチック類	ボイラー燃料	1,782.11
		紙くず	ボイラー燃料	317.04
		木くず	ボイラー燃料	2,036.92
		繊維くず	ボイラー燃料	20.91
		金属くず	資源化リサイクル	297.26
		ガラス陶磁器くず	資源化リサイクル	7,881.10
		石膏ボード	資源化リサイクル	1,150.51
		がれき類	資源化リサイクル	792.91
		ｺﾝｸﾘｰﾄ、ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ	資源化リサイクル	9,931.85
		再資源化等量小計		24,210.61
中間処理後処分量合計				26,404.18